

県立広島大学・ひろしま美術館連携公開講座

# テムズとセーヌの流れに沿って - 川が語るもの -

日時

平成 23年 11月 5日・19日・26日 (土)  
13:20~ 15:50

会場

県立広島大学 広島キャンパス (広島市南区宇品東 1- 1- 71)

11月 5日 (土)	13:20~ 14:30	最も身近な自然としての「川」	県立広島大学生人間文化学部教授 酒川 茂
	14:40~ 15:50	印象派とセーヌ	ひろしま美術館学芸員 水木 祥子
11月 19日 (土)	13:20~ 14:30	イギリス児童文学における 「川」のイメージ	県立広島大学地域連携センター講師 田淵 桂子
	14:40~ 15:50	セーヌに浮かぶアトリエ船	ひろしま美術館主任学芸員 古谷 可由
11月 26日 (土)	13:20~ 14:30	文学と絵画に描かれたテムズ川	県立広島大学人間文化学部教授 天野 みゆき
	14:40~ 15:50	パリとセーヌ	ひろしま美術館主任学芸員 渡辺 純子

募集対象

どなたでも 80名程度

受講料

無料

申し込み

往復はがきの往信面の裏に 郵便番号、住所、お名前、ふりがな、電話番号を、返信面の表に受講される方の郵便番号、住所、お名前(様)をご記入の上、平成 23年 10月 21日(金)(消印有効)までに次のところにお送りください。受講案内は締切日以降にお届けします。なお、申込多数の場合は抽選となる場合があります。

申込先

〒734-8558 広島市南区宇品東 1-1-71  
県立広島大学地域連携センター「川講座」係  
電話 082-251-9534

主催

県立広島大学地域連携センター・公益財団法人ひろしま美術館

申し込みにあたってお寄せいただいた個人情報は県立広島大学公開講座以外の目的には使用しません。

## 「テムズとセーヌの流れに沿って～川が語るもの～」概要

### 酒川 茂「最も身近な自然としての「川」」

川は山に発し、海に流れ込みます。その間、ひたすら低い場所を求めて流れてゆくだけです。樹木や畑を潤し、広い大地を生み出す役目も果たします。流れは人の行き来に役立つ上に、川面の景色は深い安らぎをもたらしてくれます。そんな、当たり前存在である川について、テムズとセーヌの2河川を例にあげて見渡してみましょう。

### 水木 祥子「印象派とセーヌ」

19世紀半ば、パリと鉄道で結ばれたセーヌ河沿いの町は、パリ市民の行楽地として人気を博し、印象派の画家たちも画題を求めて訪れました。1869年にモネとルノワールがともに画架を並べ、印象主義誕生を告げる記念すべき作品を制作したラ・グルヌイエールもセーヌ沿いの人気のリゾート地でした。なぜ彼らはセーヌを描いたのでしょうか。生涯セーヌ沿いを生活の場としたモネやシスレー、彼らの元を訪れたマネやルノワールらの作品を紹介しながら考えます。

### 田淵 桂子「イギリス児童文学における「川」のイメージ」

『たのしい川べ』は、作者ケネス・グレアムが子ども時代を過ごしたバークシャー州クッカム・ディーンを流れるテムズ川を舞台とし、一人息子に語った物語がもとになって執筆された作品です。親の愛情に恵まれなかったグレアムにとって、川は豊かな喜びを与えてくれる場であり、想像力の原点ともなりました。作品を通して、グレアムにとっての川や田園の意味、繁栄をきわめた当時のイギリス社会における工業化と自然などについて考えます。

### 古谷 可由「セーヌに浮かぶアトリエ船」

風景が頻繁に描かれはじめた19世紀、船をアトリエに利用した画家がいました。印象派の画家モネとその一世代先輩にあたる風景画家ドービニーです。かれらは「船」をどう利用して絵を描いたのでしょうか。意外と知られていないこのテーマを中心に、セーヌ川と画家のかかわりを考えていきます。

### 天野 みゆき「文学と絵画に描かれたテムズ川」

テムズ川は小説家や詩人、画家たちによってどのように表現されてきたのでしょうか。あるときは、この上なく美しい風景として、またあるときは弱者を苦しめる権力の象徴として、この川は描かれています。19世紀に生きたチャールズ・ディケンズ、ウィリアム・モリス、ターナー、ホイットマン等の作品が何を語りかけてくるか考えてみましょう。

### 渡辺 純子「パリとセーヌ」

パリ市の紋章には、「たゆたえども沈まず」という言葉とともに、セーヌを航行する船が描かれています。セーヌの水運業者たちが市政の中核を占めた13世紀以来、パリ市はセーヌとともに歩んできました。ノートルダム大聖堂、ルーヴル宮、エッフェル塔など歴史的建造物の多くがセーヌ河畔にたてられ、左右の岸を結ぶ橋とともに、パリの景観を形作りました。今回はその風景に魅了された印象派をはじめとする近代の画家とその作品を紹介します。

